

砥部町バランスシート探検隊報告会のようす

2014.9.25

8月19日、20日にバランスシート探検隊事業(施設巡り)を実施しました。そこで使用したレクチャーノートに感想やコメントを加え報告書という形にしました。本日は、その報告書を佐川砥部町長に手渡しました。



佐川町長に報告書を提出したのは、松山大学溝上ゼミ代表の馬越くんと砥部町公会計推進プロジェクトチームから友近さん。

報告書を提出した後、探検隊で得た知識をもとに、砥部町長にインタビューを行いました。この後、インタビューの様子も踏まえて報告書をホームページで公表することにします。



松山大学溝上ゼミの代表の学生たち

インタビューでは、

- 収入を増やす方法は?
- 老人福祉施設と学校など複合的にマッチングさせていくことは可能ですか?
- 過疎地域をどう考えますか?
- 学校の統廃合は?

- 若い人にも町に住んでもらうよう雇用創出を考える必要があるのでは?
- 企業誘致、観光、公共交通など大事

といった内容の質問に町長が答えていました。詳細は報告書にて紹介します。



砥部町公会計推進プロジェクトチームを代表した若手職員たち

インタビューのあと、さらにザックバランな感じでいろいろな話をしました。観光、雇用創出、若者に砥部町に定住してもらうには、農業、過疎など予定していた1時間30分をオーバーするほどいろいろな意見が出ました。





～筆者より～

私は、常々「財政を知ってからまちづくりを考える。」あるいは「まちづくりを考えるなら財政を知ることが大事。」とってきました。

今回、松山大学の学生たちと公共部門のバランスシートとはどんなものか?(民間企業との違い) ⇒ まちの中長期財政計画 ⇒ 施設白書 ⇒ アセットマネジメント ⇒ 優先順位 などについてステップを踏みながら一緒に考えてきました。探検隊の勉強は、身近で簡単な話題が多かったかもしれませんが、それでもこの報告会まで来ました。そして最後、この報告会でまちづくりについていろいろ町長と話ができる学生たちを見ることができて、本当にこの事業を実施して良かったと実感しました。また、彼らに刺激されて町の若手職員も大きく成長できたと思います。

今回のバランスシート探検隊事業はこれで終了しますが、予想以上の成果が得られたと思います。人を育てる、これもコストでは測れない「何か」と言えるのかもしれませんが。この探検隊事業、何らかの形で継続していければ幸いです。